

栗原市地震防災マップ

揺れやすさマップ 金成地区

想定する4つの地震のうち最大の震度の場合



金成地区

栗駒地区

○この揺れやすさマップは、地域に影響のある海溝型の地震(宮城県沖地震(単独型)(運動型)、活断層の地震(長町-利府断層による地震)、どこでも起こりうる直下の地震(マグニチュード 6.9)について、それぞれ震度分布を作成し、100メートルメッシュ毎にその最大となる震度を表現しています。

○このマップは、地域で起こりうる可能性のある最大の震度の目安であり、住民の皆様方の防災活動に役立てていただくためのものです。全域が同時にこの震度になることを表現しているものではありません。

■マップの作成手順

このマップの作成にあたっては、おおよそ次のような手順で、震度(揺れの大きさ)を予測しています。

○地域に影響の大きいと考えられる地震(活断層の地震(長町-利府断層)による地震)、海溝型地震(宮城県沖地震(単独型、運動型)、どこでも起こりうる直下の地震)を選び、震源となる断層の規模や位置、形状などの情報を想定します。

○それぞれの地震について、地震の規模や伝播となる断層までの距離などにより、揺れの強さが変化する性質を用いて、「地表震動値(地下の震動)での揺れの大きさ」を計算します。

○体に感じる「地表での揺れの大きさ(震度)」は、「地表震動値(地下の震動)での揺れの大きさ」に「足元(表層の地盤)揺れやすさ」を加味することで求められます。一般的に、足元の地盤が軟らかいほど、揺れやすさが増加する傾向があります。また、地表面積が狭いほど、地表面積での揺れやすさが増加する傾向があります。震度が大きくなるほど、震度が増加する傾向があります。

○このマップでは、全域を100mメッシュに分割し、メッシュごとに地表での震度を詳細に求め、表示しています。

■震度の大きさ＝震度とはなにか？

地震が起こったとき、ある場所での揺れの程度を表すのが震度です。震度の決め方は国によって異なり、わが国では気象庁が定めた震度階級によって震度を表しています。従来は震度の階級は10段階でしたが、平成10年から震度階級はそれぞれ6.1～6.9、5.1～5.9に分けて10段階に改訂されました。また、気象庁発表する震度は、従来の気象庁の観測所(約1,000か所)の観測値や民間の観測所から推定していましたが、最近では観測所が少ないため、震度計の設置されるようになり、この震度計の計測値(計測震度)とされています。これをもとに計算で震度を決定するようになっています。

| 震度階級 | 人間 | 屋内の状況 | 屋外の状況 | 木造建物 |
|------|--|--|-------|------|
| 1 | 大は揺れを感じない。 | | | |
| 2 | 揺れがごくわずかに感じられる。 | | | |
| 3 | 揺れが強く感じられる。壁や天井のわずかな揺れを感じる。 | 壁や天井のわずかな揺れを感じる。 | | |
| 4 | 揺れが強く感じられる。壁や天井の揺れを感じる。物や家具が揺れる。 | 壁や天井の揺れを感じる。物や家具が揺れる。 | | |
| 5 | 揺れが非常に強く感じられる。壁や天井の揺れを感じる。物や家具が揺れる。壁や天井のわずかな揺れを感じる。 | 壁や天井の揺れを感じる。物や家具が揺れる。壁や天井のわずかな揺れを感じる。 | | |
| 6 | 揺れが非常に強く感じられる。壁や天井の揺れを感じる。物や家具が揺れる。壁や天井の揺れを感じる。 | 壁や天井の揺れを感じる。物や家具が揺れる。壁や天井の揺れを感じる。 | | |
| 7 | 揺れが非常に強く感じられる。壁や天井の揺れを感じる。物や家具が揺れる。壁や天井の揺れを感じる。物や家具が揺れる。 | 壁や天井の揺れを感じる。物や家具が揺れる。壁や天井の揺れを感じる。物や家具が揺れる。 | | |

凡例

震度

- 震度2以下
- 震度3
- 震度4
- 震度5弱
- 震度5強
- 震度6弱
- 震度6強(1)
- 震度6強(2)
- 震度6強(3)
- 震度6強(4)
- 震度6強(5)
- 震度7

※このマップにおいて、川・湖沼等の周りで市の境界部等で、計算上の色が変わらない箇所があります。

お問い合わせ先
 栗原市 建設部 建築性宅課
 TEL 0228-22-1153 FAX 0228-22-0313



この地図は、国土院院長の承認を得て、国院発行の都市地図500m(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承諾番号 平10総機、第990号)